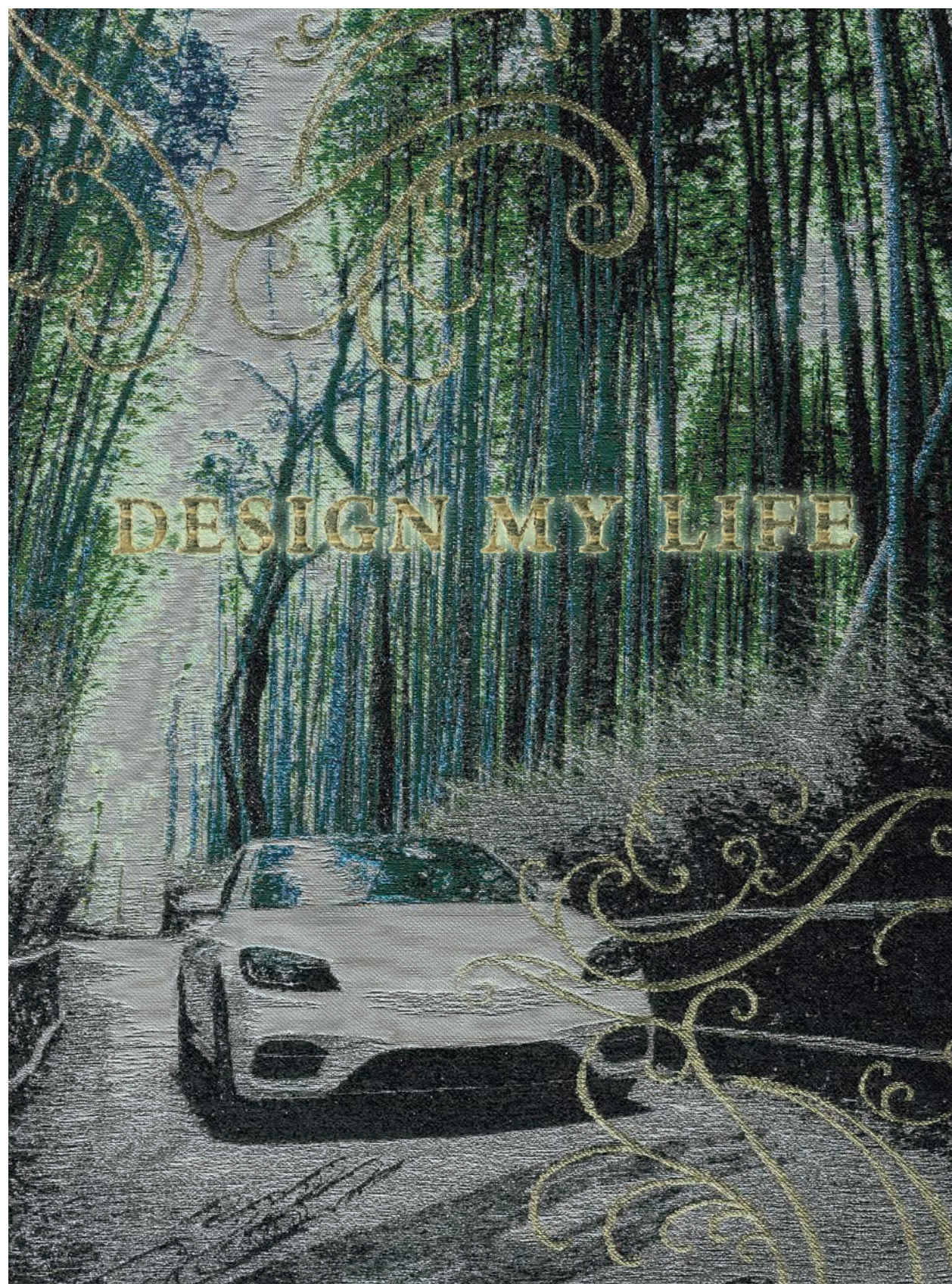


新しい道を、選ぶ。



SPECIAL INTERVIEW

アーティスト

清川あさみ

ASAMI KIYOKAWA

- Kiwakoto
Car Life with Craftsmanship
- MATSUSHIMA NEWS
Kyoto BMW BPS 城陽
Keihan BMW 枚方
京都マツダ 宇治

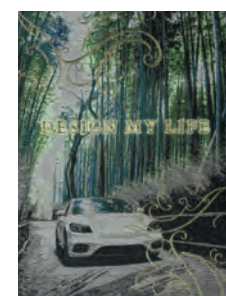
新しいひとと一緒に、 新しいことに挑戦したい。

SPECIAL INTERVIEW

清川あさみ

ASAMI KIYOKAWA

「自分の人生を、自分の手で作り上げていく。」
それはまさに、清川あさみさんの姿勢そのもの。
絶えず新しいチャレンジを続ける清川さんに、
メインビジュアル制作時のエピソードとともに、
新しい年、新しい時代への思いを
うかがいました。



2018年11月21日～12月10日、京都 両足院にて清川あさみ「千年後の百人一首」原画展「糸で紡ぐ、歌人のこころ」をマツシマホールディングス協賛により開催。この展覧会をきっかけに、同ホールディングスの新しいメインビジュアルの制作を依頼。



清川あさみ

写真に刺繍を施すなど特異な手法を用いてアート作品を手掛け、美術、衣装、映像、広告、空間デザイン、プロダクトデザインといった多彩なジャンルで、幅広い年齢層から支持を受け活躍。平成28年度後期のNHK連続テレビ小説「べっぴんさん」ではオープニング映像やポスター制作をトータルで手がけ話題に。2018年11月21日～12月10日、「千年後の百人一首」原画展(京都 両足院)を開催。

《受賞歴》

2004年ベストデビュータレント賞
2010年VOCA入賞
2012年VOGUE JAPAN Women of the Year
2013年ASIAGRAPH創(つむぎ)賞など
<http://www.asamikiyokawa.com/>

—— 繊細な織と刺繍による今回のメインビジュアルは、どんな発想から生まれたのでしょうか。

マツシマホールディングスさんから「車とともに生活がある」というイメージをお聞きして、これがヒントになりました。車好きな人って、車を自分の彼女、パートナー、家族のように選びますよね。わたしは制作に糸を使いますが、糸を一本一本、ていねいに織り上げたり縫い上げたりする過程や、同じ糸でも見る角度や使い方で表情が変わることが、車を選び、その車をパートナーとして共に過ごしていく時間と重なると感じました。「DESIGN MY LIFE」というキーワードもそうです。「人生を選ぶのは自分」です。自分自身で生活を作っていく、自分の人生をデザインするということは車選びと重なります。縦糸と横糸が交差して少しずつ織り上がってゆくイメージが、一日一日を自分自身で作る、選んでいくことと重なったのです。わたしを感じたこの「重なり」を表現したくて、織物と刺繍で今回の作品を制作したいと思ったのです。そのために、「写真ですべて織物として織り上げていく」という特別な方法で制作しました。

—— まさに「自分の人生をデザイン」し続けている清川さん。これまでの人生の大きなターニングポイントは？

「常に今がターニングポイント」ですね。子どものころからずっと、「何でも自分で

考えて、自分で決める」ことが普通でしたから。皆さん同じだと思うのですが、「カフェで何を飲むか」といった小さなことに始まって、人生はずっと「運命の選択」の繰り返しではないでしょうか。

また同時に、これからは「編集力」が問われる時代になると思います。ゼロから作ることも大切ですが、今あるものからどう選択していくかというのは、その人自身の経験がないとできないこと。まさに「人生をデザインする力」が不可欠になっていくと思います。

—— 新しい年、そして平成を超えた新しい時代をどんなふうに迎えられるですか？

まずは新年早々、出産という大きなプロジェクトが待っています(笑)。その後すぐに海外での展覧会が決まっていますので、今どんどん作品を作っています。子どもが生まれるときには不思議に新しいことをやりたくなるんです。子どもと一緒に新しいものが生まれてくるのでしょね。これまで見たことのない、作ったこともないような深い作品に取り組んでいます。

そして何より、今までの仕事の蓄積の上にあるものとは違う、新しいことを始めている人たちと一緒に、何か新しいことを始めたいですね。そういう人の持つ大きなエネルギーに乗っかって、わたしのエネルギーとの掛け算で、新しい、面白いことに挑戦していきたいと思っています。